

平成30年度 第2回（通算第11回） 日立市立学校適正配置検討委員会 会議録

日 時	平成30年9月7日（金） 午後2時から4時まで
場 所	消防本部 講堂
出席人数	（1）委員 20人（5人欠席） （2）事務局 教育部長、学務課課長、学校適正配置推進室職員 計24人
議 事	（1）保護者懇談会の実施報告（中間報告） （2）会議情報の取り扱いについて （3）今後の検討方針について
そ の 他	（1）次回検討委員会 10月開催予定
協議内容	<p>（委員長） 保護者懇談会は現在も開催中ではありますが、中学校を会場として一巡しましたので、事務局から中間報告があります。</p> <p>（事務局） 資料1について説明 いただいたご意見の傾向ということで申し上げますと、各学校とも、通学上の安全確保や通学手段に関する問題、児童クラブに関する問題など、子どもの学校生活に直接関わってくる問題について、保護者ならではの視点からのご意見やご提案を多くいただいたというふうに思っております。 なお、本日は抜粋という形で保護者のご意見をご報告させていただきましたが、懇談会が全て終了しましたら改めてすべてのご意見を取りまとめてご報告したいと思っております。以上です。</p> <p>（委員長） 資料1については抜粋された内容でもありますので、ご質問、確認されたい事項があればお受けします。</p> <p>（委員） 「統合の前に学区の再編（線引きの見直し）を考えてもいいのではないか」という意見が出されているが、そのようなことも想定しているという説明はしていなかったのか。この会議では、そのようなことも想定して再編を検討していくという説明があったと記憶しているが、保護者への説明はどのようにしたのか。 もう1点。「想定しうる再編のメリットをアピールしてほしい」という意見にどのように答えたのか。</p>

(事務局)

具体的な再編の手法について、当初からは説明していない。質問を受けて、学区の見直し(線引きの変更)という手法もあると答えている。補足として、学区自体は何十年も前に作られて、当時とはお子さんの居住分布も変わっている、可能であればリアルタイムで変えていくのは有効な手段だという認識を示したうえで、一方では課題もあることをお伝えした。例えば、コミュニティが小学校区と一体となって活動していることに配慮する必要があることや、学区の見直しだけで目指す学校規模を確保できるのか、線を引いても両方とも少なくなってしまうことがあり得ること、そういった課題もあるので慎重に検討する必要があると説明した。

また、想定するメリットについては、会場では時間の関係などもあって直接は回答していない。「そういったことも考えていかなければならない。ありがとうございます。」と回答している。

(委員)

メリットはとても重要だ。統合、再編というマイナスイメージが湧く。しかし、再編することで学びの環境がよくなると言っているのだから、それを訴えていかないと進まない。理解してもらわないといけない。検討委員会の中でも考えていきたい。

(委員長)

委員の中でも懇談会に出席された方がいると思うが、感想をお話しいただける方はいますか。

(委員)

中小路小の夜の部に参加した。参加者が少なかったのが率直な感想。夜の部の参加がないのは、父親の参加がないのかなと思うのと共働きの方が参加しにくかったのかなと思う。未就学児の保護者が多かったので出てくる意見も違っていた。

学区を越えて通学するのは、どのような仕組みで誰が許可しているのかという質問があった。理由としてははじめや人間関係が多いかと思うが、自分で調べた中では不透明感が強い。ぎりぎりの人数のところは再編のうわさが広がったりしているので、学区変更の仕組みがはっきりするとぎりぎりのところが助かったりするのではないかと思う。

(委員長)

参加人数が少なかったということは、曜日とか時間を変えたら解決されるようなことですか。

(委員)

問題意識だろうと思う。

(委員長)

地域懇談会との違いは出ている人の違いも大きいということですね。保護者といっても、現在学校に行っているというよりは、これからどこに通わせ

ようかと考えている人が多かったということですね。

学区の変更についての質問があったとのことですが、事務局ではそのような認識がありますか。

(事務局)

指定学校の変更についてご質問をいただきました。

中小路小から変更して宮田小や助川小に通っているお子さんがとても多いという認識をお持ちの方だったようで、教育委員会が厳密に審査をして動かさないようにしてくれたら、中小路小が少なくならずに済むのではないかという内容だった。

(委員長)

事務局では、それにどのように答えたのですか。

(事務局)

指定学校の変更は、各家庭の個別の事情を判断しているので、どこまで立ち入ることができるのかという問題もある。教育委員会の内規に照らして許可できるか判断しているとお答えした。

(委員長)

個別ケースの中で適否を判断するので、手続きの中で一律に決めることはできないという表現でいいですか。

(事務局)

はい。

(委員)

野球部の人数が揃わないから違う学校に行くというのが個別の事情なのかとか、統合が決まっているから初めから統合先の学校行くというのが個別ケースに入ってしまうと何でもありになってしまうと思う。保護者間では「いじめといえば大丈夫だ」という人もいた。線引きを変えても、このようなことがまかり通れば絵に描いた餅になって何の結果も生まない。

(委員長)

現状のルールへの運用に対する疑問や不審に思っている保護者もいて、抜け道みたいになっているのではと不公平感を持っている方がいるということですね。再編に絡んでのルールについては、はっきりさせる必要はあるだろうと思います。

他にいかがですか。

(委員)

大久保中の夜の部に参加した。やはり参加が少なかった。未就学児を持つご夫婦が来ていた。小さいお子さんをお持ちのためか、学童保育について心配されていて保育時間の延長や、もっと補助があれば子どもを産み育てられるといった意見もあった。先生の年齢バランスについて話された方もいた。

(委員長)

年齢バランスとは、具体的にどのようなことでしたか。

(委員)

人数が少ないと若い先生ばかりだったり、女性の先生が多いとか偏りができるので、若手が相談したりできるようにベテランの先生も必要だという内容だったと思う。

(委員)

教員採用において、小学校は6～7割が女性、中学校は6：4で男性が多い。採用段階で既に性差がある。各学校の課題解決のために計画的に、県教委、県北教育事務所、市教委が相談しながら人事を行っている。

助川中での懇談会では、未就学児の保護者だったが、どこに家を建てたらいいかと考えたときに学校の再編の見通しが立たないなら日立にこだわる必要はないというニュアンスで話していた。そのような考えを持つ若い夫婦が市内にどのくらいいるのかと考えると、情報をできるだけ公開したほうが賢明だと思う。学校の再編が人口減少を促進してしまうようなことは、私にとっては嫌なことだ。

(委員)

1歳くらいのお子さんを連れてきていた。再編の真ただ中で学校生活を送る可能性があり心配だと言っていた。先が見通せないと家を建てたくても建てられない。ある程度スケジュールが分かるようにして、住民が決定できるようにしないと流出につながるのではないか。

学区外通学について、何を視点に学校を選んでいるのかアンケートをしているのか。どの点がいいから、どこに不便を感じているからという情報があって、それを一般に投げた時に集約が進むのかなと思う。

働く場所が少ないというような、学校のことだけではなく、街づくりとしての質問が出ていた。

(委員長)

学区の変更をしていることについても、具体的な議論の中でデータを示せるようにしてほしいということによろしいですか。

(委員)

学区外だけでなく、学区の中にはいろいろな人たちがいて、保護者と子育てが終わった人とでは考え方も違うし、年代でも違うだろうと思う。アンケートなどをとることがあれば、そのようなグループごとに意見集約してもいいのではないか。

(委員長)

今日のデータは口頭でのものなので、記録上は年代まではとれない。今後アンケートなどをやる場合は、属性も考えていくことにしたいと思います。他にいかがでしょうか。

(委員)

平沢中の懇談会に参加したが、プレハブがいつ解消されるのか、中学校が今後どうなるかが保護者の関心事だった。希望の部活動ができるところ、通学の安全などを考えて、どこに通わせるか考えている人が多いと感じた。部活動を理由に学区外の学校に行っているということも聞いている。保護者間でも話し合っていると聞いた。

(委員)

河原子中は初日だった。人数としては集まったほうだと思う。参加者は未就学児の保護者が多かったのが特徴的だった。小中学校の保護者は、ここ数年で何か起きるとは思えないということで、関係ないと思っているらしいと聞いた。保護者懇談会ということで地域と分けたのはよかったと思う。意識の低さというよりも、平日の6時は家庭の事情で集まりにくかった。

統廃合というとマイナスイメージばかりだが、跡地利用なども考えてほしいという意見があった。例えば学校が統合されても住んでいるのはここなので、地域のイメージが悪くならないようにというのは発想の転換だと感じた。再編に直接結びつかないが、子どもを遊ばせる公園がないという意見もあった。

(委員長)

未来志向というか、先を見た意見を出していただけるのは大変良いことだと思います。

他にはいかがですか。

では、懇談会に関する報告はここまでとします。

協議に進みます。

会議情報の取り扱いについて事務局から説明をお願いします。

(事務局)

会議情報の取り扱いについてご説明いたします。資料は用意しておりません。

前回の委員会におきまして、情報の取り扱いについてご意見をいただいたことを踏まえ、改めて、事務局内で、非公開とする情報の範囲と会議情報の取り扱いについての考え方を整理しましたのでご確認いただきたいと思います。

非公開とする情報の範囲ですが、大きく2つございます。「統合の組み合わせに係る情報」と「検討委員会委員の個人名及び所属に関する情報」です。これらの情報について、非公開とさせていただきたいと考えております。

「統合の組み合わせに係る情報」につきましては、検討の対象となっている学校に在籍する児童生徒とその保護者、地域住民に誤解や混乱を招かないため、非公開とさせていただくものです。

また、「検討委員会委員の個人名及び所属」については、委員への個人的な働きかけにより委員に過度の負担がかかることを避け、自由・公正な議論が妨げられることを防ぐため、非公開とさせていただくものです。

次に、会議録の公開につきましては、会議録の中には非公開情報が含まれ

ていますので、事務局において内容を確認させていただいたうえで、公開するかどうかを判断させていただきたいと考えております。

以上が会議情報の取り扱いの考え方となりますが、委員の皆様には、それぞれのお立場から市全体を見ていただきながら、総合的に学校再編についてご意見をいただきたいと思いますと考えておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。以上です。

(委員長)

ただ今の説明について、ご質問等あればお受けします。

(委員)

前回、問題提起をさせていただいて、今回、定義づけをしていただきありがとうございます。賛成して反対するようだが、先ほどの報告にあった「スケジュールを知りたい」、「人口流出を防ぎたい」ということと、非公開とすることは逆行することにならないか。混乱を招かないためということとは理解したが、ほしいこととは違うという感じもある。

(委員)

台原中のことなどうわさが出回ってしまっている。学級数の基準などもあり自分たちで判断した憶測が憶測を呼んで、いつまでどのようなことが行われるかわからない不安から懇談会での質問となったと思う。気をつけなければいけないと感じた。

(委員)

統合の組み合わせは検討の結果だ。結果を出さないでプロセスを出すのは齟齬が出てくる。プロセスの中に結果が含まれている。プロセスが割愛されて結果だけが出ると、この協議の存在が不明確なものになる。

(委員長)

この会議は、議論の途中のもので、それを出すと結果も含まれる。それを出さないとなると何が出せるのか。会議にどのような意味があるのかということだと思います。

事務局の判断で会議録は公開されるということだったが、事務局で想定していることはありますか。

(事務局)

再編に関しては市民の関心も高く、その結果で住まいすら変えてしまうことになり重いことだと考えている。一方で混乱を招いてしまうことも事実である。情報は大切に扱いたいと考えている。

基本的には公表することを大前提に考えている。ただし、混乱を招くと思われるものは非公開とさせていただきたい。

議論のプロセスはブラックボックスにならないようにしていくことも大切だが、いろいろの議論があり変化していくものである。見た人のタイミングで誤解が広まってしまう可能性がある。公表したいができないという難しい問題であるが、非公開とした方がいいのではないかと考える。様々なこと

がまとまった段階で、そのプロセスは公開したい。

では、何を公表できるのかということだが、学校の現在の状況をお伝えしたいと考えている。例えば、学校ごとの児童生徒数の推計や子どもたちの実際の通学距離、過去に実施したアンケートの結果などの基本情報をお伝えしたい。そのような情報は、混乱を招くものではないので公開していきたいと考えている。

(委員長)

話し合ううえで必要な情報については、出していくということですね。

(委員)

議論の中で具体的に学校名が出てくるが、そういったものはすべて議事録としては公開しないということか。情報公開と言いながら、市民に伝えていかなければいけないことを伏せておいて、最後に「決まりましたよ」と出すというのはやってもいいのかということだ。固有名詞を避けながら、どんな議論がされているか伝わらないと、「どうなっているんだ？」となると思う。いきなり1年後に結果だけ出されたらどうか。難しいことだと思うが、議事録を出すのであれば、途中の議論もうまく出していかなければならないのではないか。

(教育部長)

会議の情報は原則公開で進めるべきだと思う。どこの地区について検討したということは公開してもいい。学校の組み合わせは、議論の中で変わってもいいことだと考えているので公開を控えたほうがいい。議事録をストレートに出した方がいいのか、まとめた形で出した方がいいのか、配慮が必要のところだと思う。一切出さないということではなく、混乱を招かない出し方をしたい。

(委員)

議論をしていくに当たっては、責任重大だと思っている。公開される議事録にも責任を持たなければならないと思っているので、公開するときは、この場で確認をさせてほしい。

(委員長)

この場で目で確認して、公開する場合には、事務局の判断について共通理解を持ったうえで進めていきたいと思えます。

他にあればお受けします。

(委員)

会議の中にはいろいろな性格のものがあり、すべてを公開すればいいということでもない。横やりを入れたり誘導したりできないように、公平公正を保つために決定過程を一切公開しないものもある。そのようなことも知っておいた方がいいだろうと思う。

(委員)

具体的な学校名が議論になるのは、もっと先のことだと思っていた。「ブロックで学校が4つあるが2つくらいが最適ではないか」というようなことを議論した後に地域に下ろすと思っていた。生々しい名前は公開すべきではないが、話し合いで決めていくのであれば、そこまではかなり先になると思う。そこに行きつく過程では、「地区に合う学校数を確認した」とか「中学校は〇km圏内に△校とするべきだ」というような個別名が出ないようなことを先に議論して地域に下ろし、その結果を見て最後の手段に行くのかと考えていた。このような議論がされているということは公開してもよいと思っていた。議論の内容によって、この場で確認してもいいのではないかと考えた。

(委員長)

情報の扱いにも関係してくると思いますが、次の協議内容である「今後の検討方法」について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

今後の検討方法について、ご説明いたします。資料2をご覧ください。

検討方法ですが、大きく2つに分けて進めてまいりたいと考えております。

まずは、市内全校の状況について、改めて、委員の皆様には状況を把握していただき、併せて、どのような課題があるのか、課題整理していただくことで情報の共有を図っていきたいと考えております。現時点においては、エリアごとに各学校の状況を見ていただこうと考えております。

これらの作業については、先ほどご報告させていただいた保護者懇談会において、保護者の皆様から様々なご意見やご提案をいただいたことも踏まえ、再編計画を考えていくうえで、今一度、各エリアの状況把握と課題整理を行いながら、より丁寧に進めていく必要があるのではないかとのお考えもあり、このような機会を設けさせていただくものです。

次に、この協議結果を取りまとめ、改めて全体を検討していただきたいと考えております。

これらの流れを表にしたものが、「3 今後の予定」となっております。

次に検討に当たっての「前提」と「留意事項」でございます。

「検討の前提について」ですが、「基本方針」に則り、学級数の確保を目指すことと、目安とする推計は20年後のものとするを前提としてご検討していただきたいと考えております。

「留意事項」については、配置バランス、通学時の安全確保、学校の新たな「かたち」づくりの3つの項目を載せております。これらの留意事項についても、合わせて考慮しながら進めていただければと思います。

また、「その他」については、例にありますように、検討委員会や保護者懇談会でいただいたご意見のうち、関係機関との調整が必要なものについては、事務局が必要に応じて関係機関と調整を行っていきたいと考えております。以上です。

(委員長)

ただ今の説明について、ご質問等あればお受けします。

(委員)

学校の情報を出していただけるのは有意義だが、資料2のように「前提」というと数ありきになってしまうのではないか。20年後かもしれないが、「ターゲットは○校、△校、□校」となる感をぬぐえない。そのような考えを捨てて、子どもたちのためにどういう学校であるべきかというような方向性でとあったので、少し否定的な考えを捨てて、結果としてどこかの学校が対象となったとしても話し合いたいと思うが、前提となると数が少ないところをどうするかという議論になってしまうと感じる。

「留意事項」の「ウ」のようところが強調されればいいが、初めに人数とか距離の情報を与えられて「クラス数を前提とします」となったら、対象校ありきの話になりそうで不安だ。

(委員長)

前向きな議論をやったうえでということですね。

(委員)

そのうえであれば、少ない学校でもいいということにならないかと思っていい。そういう議論をさせていただけたらいいと感じた。

(委員)

学区外通学の比率や、理由、通っていてどう思っているかなども聞けたらいいと思う。再編を考えたときに、遠くの学校に通わせることを先駆けてやっている人なので参考になるのではないか。情報収集ができればやってほしい。

(委員)

これまでの議論の中で、留意事項の一部は特例のはず。各学区の特徴があって特例がある。それを先に議論したのではまとまらないと思う。1年半かけて議論してきたことは重要で、基本的には、バランスなどをベースにして、事務局案のとおりに行うべきだ。特例は特例で議論する必要はあるが、それを先にしてはまとまるものもまとまらない。

(委員長)

ここに書かれたことは特例というほどのものではないと思うが、まとめた方針があって今があるということは事実です。それを踏まえて検討していくべきというご意見だと思います。

(委員)

これまでの協議の上に方針があり、それに沿って検討していくということは承知で委員になっている。

今更ではあるが、ある程度の規模を確保するための適正配置の検討ということになると、まずは機械的にやっていく以外にない。どのような学校教育

活動を行っていくのか、一例として小中一貫教育などがあると思うが、市内の小中学校全てに敷いていけるように規模を揃えていこうとか、そのような議論もあっていいのではないか。

(委員)

資料2の「2」はすごく重いと思う。重いというのは、分かりやすいけれども感情にぶつかってしまう。

再編のメリットは何なのか、イメージを前向きなものに変えていきたい。これをやることは1つの光だと思う。その中で、「2(1)」のア、イは難しい。

20年後を基準に考えたときに、「基本方針」の留意事項の中で)中里は別としているが15人(中里中学校の2027年の推計生徒数)しかいない。15人が特例で、他が特例ではないというのはどういうことかという議論にもなってしまう。以前に聞いたときは、人数が少なくなっていけば中里についても見直さなければならないかもしれないという話もあったと思う。20年という、そこも矛盾が出てきてしまう。学級数という言葉にしてみると、ここで集まって話すのは、「数字どおりやりましょう」ということになって議論の余地も無くなってしまうような感じもある。

学校は個人のものではないし、地域の人たちのものでもあるけれどそうでもない、でも、子どもたちだけのものなのか、いろいろな疑問が出てくる。

私がここに掲げたかったのは、基本方針は大事だが、一気に小中学校のプランを出すのか、体力のある中学生からプランを出していくのか、そういう議論をしたうえで具体的に学級数とかを組み入れていかないと、数字ありきになり、話し合いも元気がなくなってしまうので、検討方法の中で未来を話しできる場を作っていただいて、次のステップに行けるようなものにしてほしい。

「どこどこを小中一貫で」というようなところまでの議論は要らないと思う。今までの意見を聞いていると、「中学生の方が大変だよ」とか、「小学生は遠くなる」といろいろ問題あるよね」とか「バスもあるよね」とか、何が優先で何が最初なのか、学校も平沢と坂本は止まった状態なので、これを20年かけて議論したらひどいと思う。そのようになっているところで、保護者がどう考えているかが分かったら、それを最優先に考えていく。スピードを持ったうえで、慎重で真剣に。小中一貫でまとめるのも、とてもいいと思うが、そういう議論の前に、何を最初に考えなければならないのか、保護者のアンケートは大事にしたうえで、ぜひ、前を向けるように話を進めていただきたい。

(教育部長)

統廃合は、どうしても暗いイメージがあるのも、そのとおりと思う。

基本方針は、時間をかけて協議していただいたものだ。望ましい学校規模というのが肝である。

保護者懇談会では、単に〇〇学校の学区を変えてくれという意見ではなく、隣接する学校の片方が規模を維持できなくなりそうだった、線を変えて子どもの人数を調整したらいいのではないかというご意見だった。意見の良し悪しではなく発想の柔軟さが必要なのだらうと思う。

市内学校の細かな状況を共有してほしい。そのうえで地区ごとにどんな課題があるのか考えていかななくてはならない。ただ、これまでの検討の成果である基本方針は原則にしなければならない。いろいろな意見を出していただいて、「全体的には、こんな感じ」というものが出来上がって、そこから具体的な学校の扱いの話になる。当面は状況の共有を図りたい。

今日の会議は、委員の個人名を除いて公開する。学校の情報や通学距離などの情報は、オープンにしてもよい情報だろうと思う。

(委員長)

今後の会議の中でも、検討の仕方についての議論は出てくるだろう。今後の進め方については、これが全てではなく、ひとまず共通理解をしてほしいということです。

他にご意見がなければ、本日のところはこれで終了といたします。

以上